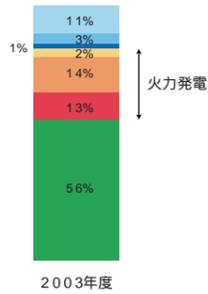


火力発電
水力発電

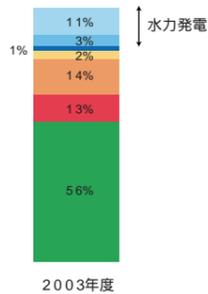
変動する電力需要への柔軟な対応力が、火力発電の特長です。

多様な燃料をバランスよく利用する火力発電
刻々と変化する電力需要に対して、優れた柔軟性を発揮する火力発電は、ミドル電源として大きな役割を果たしています。火力発電による発電電力量は全体の29%。関西電力は、比較的価格の安定した石炭やクリーンなLNG(液化天然ガス)などを燃料とする火力発電所の導入により燃料の多様化を図っています。



舞鶴発電所

国内の天然資源を有効活用する水力発電
水力発電による発電電力量は全体の14%ですが、国内の天然資源を有効に活用する重要な電源です。さらに、電力需要が少なく供給に余裕のある夜間に、下部調整池から上部調整池にポンプ揚水し、昼間に発電する揚水式水力発電も、ピーク時・緊急時の電源として大きな役割を担っています。

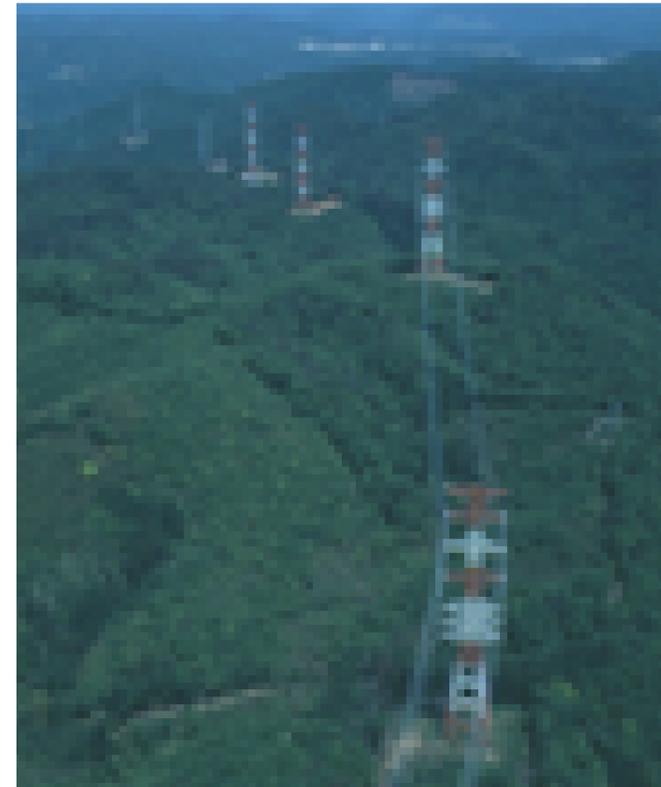


黒部川第四発電所

自然の力を有効に活用するのが、水力発電の特長です。

送電
配電

安定した電気の流通に向けて、日夜努力を重ねます。



播磨西線

安定した電力流通システムを実現

発電所で作った電気を、お客さまのお手元まで、安定してお届けするのが、電力流通(送電・変電・配電)システムです。

地域にはりめぐらせた電力流通システムを24時間365日監視し、コントロールするために、高度なIT技術を用いた監視システム・自動化システムを採用し、さらに台風などの災害に備えた周知な訓練を実施しています。その結果、お客さま1軒あたりの停電時間や停電回数も大幅に低減され、世界的にもトップクラスの品質を達成しています。



新生駒変電所